

## 観光振興施策に関する委員からの意見

これまでの会議の中で、事務局からの事業説明や関係事業者からの意見聴取の際にあった委員からの意見のうち、施策に関するものは、以下のとおり。

### (1) 観光資源

- 国内観光客がどのようなルートで観光するのか、また、直接的に観光に関係する商品や交通以外にも、違った視点で様々な業界の意見を聞くことも必要である
- 観光のトレンドがアウトドアに移っていることもあり、対策を考えていく必要がある

### (2) 受入環境

- 外国の方に聞くと沿岸部に向かうバスが走っていないと言われるので、二次交通の対応を考えていく必要がある
- 宮城県も次世代の観光の在り方を少し意識していく必要があり、例えば、既存の観光施設を作り替えてワンストップで様々なサービスを提供するなど、状況の変化に柔軟に対応していく必要がある

### (3) 情報発信

- 世界的には観光客の伸びしろは若い世代にあるというのが常識であり、そういった世代をどう獲得するかを議論する上では、AI やデジタルマーケティングが重要である
- インバウンドの増加の影で、国内旅行者がかなり減ってきており、観光客の高齢化により国内の動きが少なくなっていることへの対策をどうするのか議論する必要がある
- 東北の外国人観光客は全国の 1.3%に留まっていることから、インバウンドはまだ伸びしろがあるので、東北地方だけではなく北海道や東京などとの協力も検討する必要がある
- ミレニアル世代への宮城県の認知が進んでいないという課題があり、デジタル戦略の強化が重要である
- 観光客へのアイコンづくりとして、「ないもの探し」ではなく「あるもの見つけ」をして、若い人に選ばれる磨き上げたコンテンツを SNS などデジタルで情報発信するのが世界で勝つための法則であり、数値に基づいてデジタルを活用し情報発信できる戦略を継続することが成功につながる

### (4) 体制強化

- 体験メニュー等については、対象を絞ればその分人手はいらなくなるし、誰に来てほしいかを明確にして逆に選んでいく、こういった取組に対しアドバイスをもらえるメンター等の活用支援があると良い